



みどりのこだま

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所

(住所) 河沼郡会津坂下町大字見明字南原 881 (電話) 0242-83-2112

金山普及所

(住所) 大沼郡金山町大字川口字上町 656-1 (電話) 0241-54-2801

第 60 回福島県農業賞受賞

令和元年 8 月 27 日 (火)、杉妻会館 (福島市) において「第 60 回福島県農業賞表彰式」が開催され、「経営改善部門」で柳津町の鈴木茂三郎・みどりご夫妻が受賞されました。また、同日に福島県農業賞特別功労賞を会津美里町の横山正治・教子ご夫妻が受賞されました。福島県農業賞は、県内の特に優秀な農業経営体を「農業 10 傑」として表彰し、たたえています。また、農業賞特別功労賞は、福島県農業賞第 41 回から 50 回の経営改善部門受賞者のうち、受賞を契機として、さらなる経営発展と地域農業の振興に積極的に取り組まれた方をたたえる特別賞です。

第 60 回福島県農業賞

鈴木茂三郎・みどり氏 (柳津町)

鈴木ご夫妻は、J A 会津よつばかすみ草部会に所属し活躍されています。就農時から宿根カスミノウ栽培に取り組み、新品種や新技術を積極的に導入し、計画的に規模拡大を進め、現在、100 a まで拡大しています。自宅がある西山地区の滝谷川に沿った標高差 (約 300m~700m) を活かし、長期安定出荷 (6 月~11 月) と作業に係る移動距離を短縮し、素早く調製を行い、切り花鮮度を高めるなど、西山地区ならではの農業経営を構築されています。さらに、需要動向や消費者を意識した高品質な宿根カスミノウ生産に惜しみない努力を傾注しています。

福島県農業賞特別功労賞

横山正治・教子氏 (会津美里町)

横山ご夫妻は、農業賞受賞 (第 50 回) 時と同じ水稲と園芸の複合経営に取り組んでいます。当時と比較すると稲作の規模拡大を図りながら、園芸部門の多品目構成をきゅうり栽培に集約するなど、農業賞受賞後の 10 年間で経営を大きく発展させました。この間、経営を計画的に後継者へ移譲しており、会津美里町の担い手として地域の農業発展に大きく貢献しています。横山ご夫妻が築きあげたこれまでの農業経営を後継者が、さらに発展していくことが期待されています。



こんにちは！ 新しく農業をはじめました！

会津坂下農業普及所管内では新規就農者が増加しています。前号に引き続き、令和元年度に就農した将来を担うニューフェイスを紹介します。

新国洋平さん（会津坂下町）

経営内容：果樹（ブドウ）

ブドウ（雨除け 20a）を今年新植しました。試行錯誤しながら多くの方の支援を受け、ブドウ栽培に取り組んでいます。栽培技術の向上はもちろんのこと、スマート農業、インターネットでの販売や宣伝にも挑戦し、規模拡大を目指していきたい。



猪俣 篤さん（会津美里町）

経営内容：水稻+ミニトマト（施設）

私の集落は稲作を主とする農家が多く、育苗から乾燥・調製まで行う農家は減少しています。

将来にわたり継続的に地域の農地を守る農業者になれるように計画を立て、地域の担い手となり頑張っています。



会津坂下農業普及所では、新規就農者を応援しています。新しく農業を始めたい方、各種支援制度について知りたい方は、気軽にご相談ください。

今年は知的に熱く活動中！ 両沼農村青年クラブ

両沼農村青年クラブは、河沼郡及び大沼郡内の若手農業者のグループです。主にプロジェクト活動や日々の情報交換を通して、和気藹々と楽しく活動しています。今年度のプロジェクト活動では、ICT 機器を使ったスマート農業を学ぶ第一歩として安価な自作センサーの利活用方法を学んだり、水稻栽培省力化のための流し込み肥料やドローンを活用したりと、活動を通して情報共有しながら自分に合った技術習得・改善を目指しています。

現在のメンバー10人は、精鋭ぞろいで両沼地域の農業を盛り上げるために奮闘しています。



秋の農作業安全運動重点推進中！ 農作業事故が増えています！

【コンバイン事故の3つの特徴】

- ① 走行中（ほ場、道路）の転落、転倒
- ② 点検整備や清掃中の事故
- ③ 手こぎ作業中の巻き込まれ事故

農作業事故防止は、一人一人が安全意識を持って作業を行うことが重要です。

【乗用型トラクターの事故防止に向けて】

- ① 安全キャブ・フレーム付きのものを使用しましょう。
- ② 作業が終了したら、ブレーキペダルの連結を確認しましょう。

沼沢湖畔の特産マコモタケ（金山普及所）

金山町の観光の中心である沼沢地区では耕作放棄地の増加が深刻な問題となっていますが、その解決に向けて、水田の耕作放棄地を活用したマコモタケの栽培が行われています。平成27年に6aの試験栽培からスタートしたマコモタケ栽培は、(株)奥会津彩の里が取り組み、現在、沼沢湖東岸に約1haまで拡大しています。金山普及所では「マコモタケ栽培の手引き」を作成す



沼沢湖畔のマコモタケ

るなどの支援をしており、今後は、土壌の還元障害対策や雑草対策等の課題解決に向けて継続して支援し、更なる生産拡大を目指します。

金山町の特産品のひとつとなっている「マコモタケ」は新野菜として首都圏からの引き合いも多いそうです。金山町、三島町、柳津町の道の駅やJR川口駅等では加工品が販売されております。ぜひご賞味あれ。



販売されているマコモタケの加工品

集落環境診断のすすめ！！（野生鳥獣を寄せつけないために）

野生鳥獣は、つねに「食べ物（農作物等）」が豊富にあって、「安心して休める場所」を求めています。野生鳥獣の被害が増加している多くの地域では、「食べ物」と「安心して休める場所」のふたつがそろっています。こうした要因をなくし、野生鳥獣が出没したり、住みついたりしないように集落環境整備をしていくのが大切です。

まずは、住民同士で集落内を歩き回り、お住まいの集落環境を点検しましょう。みんなで確認しながら歩くことで、問題となる部分が見えてきます。その情報を、集落全体で共有し、住民同士協力し合いながら、少しずつ問題点を解決していくことが重要です。



集落環境診断を実施中（朝立集落・会津坂下町）

令和元年産米の全量全袋検査について

令和元年産米も、県産米の安全性確保のため、引き続き、「米の全量全袋検査」を実施します。検査対象となる米は、出荷・販売する米はもちろん、自家用の「飯米」、親戚などに配る「縁故米」、販売される「ふるい下米」など、県内で収穫されたすべての米が検査の対象です。「飼料用米」も全量全袋検査の対象としています。皆様方には、御理解と御協力をお願いいたします。

検査結果は、ふくしまの恵み安全対策協議会のホームページで確認できます。

第三者認証GAPを取得しませんか？

福島県は、「GLOBALG.A.P.」、「JGAP」の個人認証取得やJA団体認証取得などを推進しています。これからの農業経営において、GAPは大切なアイテムになります。事業を活用し、「GLOBALG.A.P.」、「JGAP」、「FGAP」取得をめざしませんか？

GAP取得に係る本年度の事業申請は、令和元年10月25日(金)が締め切りとなります。詳細は会津農林事務所農業振興普及部農業振興課(0242-29-5302)までお問い合わせください。

新任の地域マネージャーです

今年度より、福島県農地中間管理機構両沼推進拠点地域マネージャーとして会津坂下農業普及所に駐在しています「那知上なちがみ一房かずふさ」です。農業者の皆様役に役立つ地域マネージャーとして活動してまいりますので、前任の五十嵐昌男マネージャー同様によりしくお願いします。



農地中間管理事業を活用してみませんか？

あなたのお住まいの地域では、高齢化が進んでいて担い手がない、遊休農地が増えているなど、将来の地域農業に不安や悩み等はありませんか。

農地中間管理事業は、農地中間管理機構（公益財団法人福島県農業振興公社）が、利用可能な遊休農地を含め、地域内に分散した農用地等を借り受け、担い手（地域外の担い手も含め）へまとまりのある形で利用できるよう配慮して、長期間貸し付ける事業です。

農地の一部または全部を貸したい方、分散した農地をまとめたい方、新規就農で農地を借りたい方等、農地の貸借については、農地中間管理機構に相談してください。

会津坂下農業普及所内に、農地中間管理機構職員（地域マネージャー）が駐在しています。

所長から一言ごあいさつ

会津坂下農業普及所長 高橋 平

平成最後の4月1日より会津坂下農業普及所長を引き継ぎました高橋と申します。（平成17～19年度の3年間、会津坂下農業普及所金山駐在に勤務し地元の方々にはたいへんお世話様でした。）

私たち農業普及所の役割は、農業に対する感謝の心を保ちつつ、人に寄り添うような農業の普及活動を行うことです。平成から令和へ、天皇皇后両陛下から新天皇皇后様へ引き継がれましたが、国民を前に「感謝の心を忘れずに人に寄り添う姿」が心を打ちました。

我々職員一同、地域に暮らす農業者が生き生きと輝き、その姿に感動する若者が農業を職業として選択し、後継者となり、さらなる幸せを実現していくこと、そして美しい農村景観や暮らし、文化を守り育てていくことを願っています。

ところで、来年には県内でもオリンピック・パラリンピックが開催されます。福島県の復興創生の姿をアピールする絶好の機会です。特に第3者認証GAP取得日本一を目指す取組は、オールふくしまの取組として重要です。生産者の皆様、関係者各位のご協力をお願いいたします。

令和元年度

会津坂下農業普及所職員紹介



(若月菜・祐太郎)	(花戸き・邦明下)	(片桐作物・優亮下)	(皆川野菜・博孝下)	(横山作物・健下)	(後藤業務補助・敏郎坂下)	(須佐臨時職員・芽生坂下)	(佐藤花き・美季坂下)
(薄果樹・真昭坂下)	(内田畜産・研一坂下)	(阿部果樹・和博長)	(高橋作物・平坂下)	(兼次長田口地域農業推進課長野菜・明広坂下)	(福田花き・秀之金山)	(小森作物・秀雄金山)	(那知上農地中間管理機構)

令和元年度は職員13名で頑張ります。なお、有機農業担当は会津農林事務所農業振興普及部 星輝幸が会津坂下地域も担当します。よろしくお願いいたします。